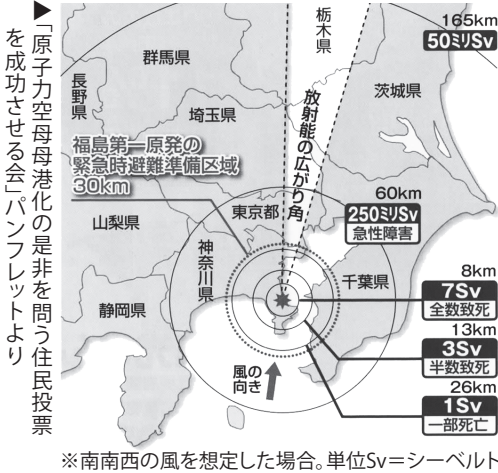


日本共産党船橋議員団

ニにゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>

市会議員	佐藤重雄 ☎432-9872
石川敏宏 ☎462-4548 事務所☎467-2860	関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160	中沢学 ☎493-8140
金沢和子 ☎422-5278	渡辺ゆう子 ☎462-7273



船橋から50km 一番近い原子炉は横須賀原子力空母

現在船橋市は、新しい防災計画の策定を進めていますが、福島第一原発の事故を受けて放射能汚染対策も盛り込む方向で検討しています。3月議会で、「横須賀の原子力空母による重大事故も被害想定に盛り込むべきではないか」と質しました。

横須賀から船橋までの距離は、

一番近い三番瀬海浜公園で約50km、一番遠い小室でも約67km程度。原発事故で甚大な放射能汚染被害を被った福島市の福島第一原発からの距離は約60kmであり、船橋市の最も近い原子炉との位置関係は福島市とほぼ同様です。

横須賀の原子力空母には、熱出力60万キロワットの原子炉が、2つ積み込まれています。地震による海底の隆起や津波による引き波で海底に着底し冷却用の海水を取り込むことができなくなる危険、停泊する港に設置されている外部電源・ガスタービン発電施設と純水供給施設が地震や津波によって破壊され機能を喪失することで原子炉を冷却できなくなる危険などが指摘されています。

NPO法人の原子力資料情報室

横須賀の原子力空母には、熱出力60万キロワットの原子炉が、2つ積み込まれています。地震による海底の隆起や津波による引き波で海底に着底し冷却用の海水を取り込むことができなくなる危険、停泊する港に設置されている外部電源・ガスタービン発電施設と純水供給施設が地震や津波によって破壊され機能を喪失することで原子炉を冷却できなくなる危険などが指摘されています。

NPO法人の原子力資料情報室

無料 日本共産党 船橋市議団主催

法律相談

4月18日(水)

会場：中央公民館
(部屋は1F入口案内板に掲示)

時間：午後1時～4時

要予約 ☎436-3030

は、重大事故発生時には、船橋市も入る「60km圏内」では「頭痛や吐き気などの急性障害を起こす250ミリSvの放射線量」と試算しており、この被害予測は過去にマスコミでも報道されています(図参照)。そうした重大事故が起これば、60万人を超える市民が生命の危険にさらされ、避難生活を強いられることとなります。

市長公室長は、「防災計画は個別の事故を想定しているものではない」などと答えるのみ。ことは、市民の命・くらし、そして市の存続にも関わる重大問題です。事故が起こってから、「想定外だった」ではすまされません。

「ふなばし三番瀬海浜公園」のプールを運動公園に？

東日本大震災で被災した「ふなばし三番瀬海浜公園」。

船橋市は、現在の場所にもう一度プールを作るのを断念し、「他の地域でのレジャー

プール機能の拡充を検討する」と公表しました。そして、その「他の地域」に選ば

たのは、夏見台にある「船橋市運動公園」のプール。面積

も、用途も異なる運動公園のプールは、どんなプールになるのでしょうか？

役割が異なるこのプール



市営プールが、運動公園の

プールだけになってしまった船橋市。このプールは屋外唯一の公式競技を行える、「生涯学習施設」して大切な役割を果たしています。施設面積は8600㎡、料金は、大人は2時間200円、小学生・中学生は2時間50円です。

一方、「ふなばし三番瀬海浜公園」は「レクリエーション施設」で、施設面積は1万9440㎡、料金は、大人が800円、小学生・中学生は400円、4歳以上は200円。流れるプールやウォータースライダーが人気の施設でした。

今議会には、施設の役割も料金の体系も異なる運動公園のプールにレジャープールの役割を持たせること、その設計を業者に委託するための委託費用と、老朽化している現在のプールの改修費用が、市長から提案されました。

そこで、運動公園のプールが担っている「生涯学習施設」としての役割を継続すること、それができないなら施設の拡充ではなく、新たなプールを作ること、施設の改修にあたっては、現在の運動公園

プール利用者の意見を反映することを、質問で求めました。

利用者の声を反映すべき

船橋市は、新しく設置するプールについて、詳細はこれから検討すること。従って、利用料などは決まっておらず、改修も、現在管理を行っている都市整備部と生涯学習部から意見を聞く、との答弁。つまり、何も決まっていないから答えられない、という状態でした。

今後の予定は、24年度（4月1日から来年の3月31日まで）で基本設計、25年度で実施設計、26年度から工事予定です。

今だからこそ、利用者の声を充分反映できるはず。ぜひご意見ご要望をお寄せ下さい。